

6月26日-7月2日

エズラ 1-3 章

開会の言葉 (1分)

神の言葉の宝

「自分をエホバに用いてもらう」 (10分) 滝 秀貞

宝石を探し出す (10分) 田中 慶一

エズ 1:5, 6 そこで、ユダ族とベニヤミン族の氏族長たち、祭司とレビ族、つまり真の神に心を奮い立たせられた全ての人は、エルサレムにあったエホバの家を建て直すために上っていく準備をした。⁶ 周囲の人々は皆、銀と金の器具、物品、家畜、高価な品々、そのほかあらゆる自発的な捧げ物を与えて支援した。

バビロンに残ったイスラエル人から何を学べるか。 (塔 06 1/15 19 ページ 1 節) バビロンに残ったイスラエル人がいたように、エホバの証人の中にも、全時間宣教に携わったり、必要の大きな所へ出かけて行って奉仕したりできない人が多くいます。しかしそれらの人たちは、そうできる人を支えて励ましたり、王国を宣べ伝えて弟子を作る業を促進するために自発的な寄付をしたり

今週の範囲からエホバについて何を学べたか。宣教でどんな点を活用できるか。ほかにどんな宝石を見つけたか。 (2:64-65) 会衆組織の中に、4万2360人とは別に奴隷の男女が7337人もいたことが記録。この中には耳を突きぎりで突き通されて、自発的に奴隷となっていた人たちもいたこと。イエスも進んで人に奴隷として仕えることが第一になれる生き方であると説明された。私達も新しい地の組織の中で、進んで人に仕えるために、今人に仕える習慣を身に付けていきたい。

聖書朗読 (4分) エズ 2:58-70 (教励 第5課) 伊藤 勇一

野外奉仕に励む

最初の話し合い (3分) 話し合いのサンプルの話題に沿って話す。よくある反対意見に対応する。
(教励 第3課) 水品 由美子 3 柴田 さつき

再訪問 (4分) 話し合いのサンプルの話題に沿って話す。「いつまでも幸せに暮らせます」の冊子を提供する。
(教励 第9課) 米山 京子 9 田中 麻美子

聖書研究 (5分) 暮 レッスン 10 まとめ、復習、次のステップ (教励 第8課) 金刺(亜)8 松橋美智

クリスチャンとして生活する

58 番の歌

「会話を始めてみましょう」（15 分）討議。動画を視聴する。 水品 安章

（会衆の聖書研究（30 分）暮 レッスン 49 ポイント 1-5）巡回訪問/奉仕の話 本家 港太郎

閉会の言葉（3 分）

132 番の歌と祈り 吉田 忍

神の言葉の宝 自分をエホバに用いてもらう [「[エズラの紹介](#)」の動画を再生]

エホバは、イスラエル人を解放するようキュロス王の心を奮い立たせた。（[エズ 1:1-3](#) ペルシャのキュロス王の治世の第1年のことである。かつてエレミヤが語ったエホバの言葉が実現するよう、エホバはキュロス王の心を奮い立たせ、王国全域に布告を出させた。王はその布告を文書に記した。2 「ペルシャのキュロス王の言葉。『天の神エホバは、地上の全ての王国を私に下さった。そして、ユダのエルサレムにご自分の家を建てるよう私にお命じになった。3 それで、その神の民である人は誰でも、ユダのエルサレムに上っていき、イスラエルの神である真の神エホバの家を建て直すがい。その家はかつてエルサレムにあった(if*その方はエルサレムにいる)のである。神がその人と共におられるよう願っている。塔研 22.03 14 ページ 1 節ユダヤ人は喜びに包まれていました。エホバ神がペルシャの「キュロス王の心を奮い立たせ」たので、ユダヤ人は何十年も捕囚になっていたバビロンから解放されることになったのです。キュロスはユダヤ人に対して、故国に戻り、「イスラエルの神である真の神エホバの家を建て直す」ように、との布告を出しました。（[エズ 1:1, 3](#)）それを聞いたユダヤ人は、本当にうれしかったことでしょう。真の神エホバがご自分の民に与えた土地で、エホバへの崇拜がついに回復されるのです。）

エホバは、神殿を建て直すようイスラエル人の心を奮い立たせた。（[エズ 1:5](#) そこで、ユダ族とベニヤミン族の氏族長たち、祭司とレビ族、つまり真の神に心を奮い立たせられた全ての人は、エルサレムにあったエホバの家を建て直すために上っていく準備をした。塔研 17.10 26 ページ 2 節ゼカリヤは、彼らが強い信仰を示したことを知っていました。神に「霊を.....奮い立たせられ」て、家や仕事を後にしました。（[エズ 1:2, 3, 5](#)）住み慣れた土地を離れ、エルサレムに旅立ちました。そこはほとんどの人にとって見たこともない場所でした。神殿の再建の重要性を認識していなければ、1600 *もの厳しい旅をすることはなかったでしょう。）



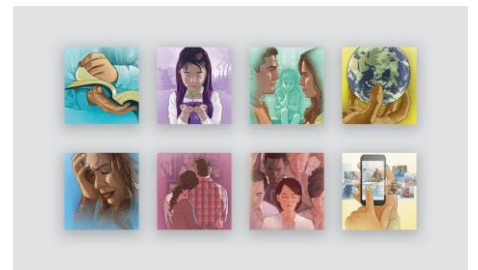
自分をエホバに用いてもらうようにするなら、エホバはご自分の望むことを行うために、私たちがをどんなものにでもならせることができる。

クリスチャンとして生活する

会話を始めてみましょう

自然な会話の中で真理を伝えるのは、楽しくてとても良い伝道方法です。会話を始めることを考えただけで緊張しますか。どのように聖書の考えを伝えたらよいかを考え過ぎているのかもしれませんが、何を言うか心配し過ぎるよりも、相手を気遣うことに意識を集中しましょう。（[マタ 22:39](#)『あなたは隣人を自分自身のように愛さなければならない』。[フィリ 2:4](#)自分のことばかり考えずに、他の人のことにも気を配りましょう）会話の中で自分が信じていることを話すチャンスが訪れたらどうしますか。役立つツールがたくさん用意されています。

話題に応じて、次のツールをどのように活用できますか。



「[『鉄が鉄を研ぐ』会話を始める](#)」の動画を見て、次の質問に答えましょう。

会話のスキルを磨くために、どんな3つの点を意識できますか。

①気さくに話しかける。②自然に会話する。③自分が信じていることを簡潔に話す。

（『鉄は鉄を研ぐ』どのように会話を始め、伝道に繋げるか？）

会話を始めるのが苦手という人がある。話かけられそうな人を見つけると、「何て話しかけよう、どうやって伝道に結びつけよう、何て言われるだろう」と考えてしまうかもしれない。不安と緊張で固くなってしまふ。会話を始めていないのに断られることを考えてしまふ。次のことを忘れない。私たちの目標は、会話を始めるということ。ですから会話を始められたら目標達成で成功。あとはリラックスして良い便りを伝えられる機会を待つ。2018年9月のMWBには、イエスがどのようにサマリア人の女性と会話を始めたかが、取り上げられている。（ヨハネ4章）話しかけられそうな人が居るなら、次の3つの点を心がける。（宣教の技術を向上させるには⇒）

①気さくに話しかける。（勇気をいのり求めて気さくに挨拶）その後その場に合ったことを何か言う。（天気、レジの長い列、相手の素敵な車のこと）何でも構わない。ヨハ4:7/イエスは会話を始めるため、ただ水を飲ませてください、と言った。②自然に会話する。あわてない。良い知らせを伝える前に会話が終わってしまっても大丈夫。会話を始めるという目標は達成した。またやってみる。もし会話が続くなら次のことを行うチャンスを探す。③自分が信じていることを（簡潔に）話す。イエスはサマリア人の女性に7節も後で良い知らせを伝え始めた。永遠の命を与える水について話した。それまでの間、一方的に話したりはしなかった。女性に考えや気持ちを話してもらい、良く耳を傾けた。（実演2つ）家族や友達と練習する。鉄が鉄を研ぐように互いのスキルを磨き合う。